



## わたし8歳、職業、家事使用人。

期間:2022年2月21日(月)~4月28日(木)

協力:特定非営利活動法人シャブラニール=市民による海外協力の会

人が生きていくために毎日やらなければならない「家事」。掃除に洗濯、料理に食器洗い、夕食の買いものにも行かなければなりません。家族が多いと、その仕事量は何倍にもなります。普段はあまり意識しませんが、学校に行ったり、会社で働いたりするのと同じように、私たちが毎日の暮らしを送るために必要なもの、それが家事なのです。

**みなさんの家庭では、だれが家事をやっていますか？**

みなさんもお母さんやお父さんのお手伝いをしているかもしれませんが。しかし、世界には家事をすることで生計を立てている子どもたちがいるのです。

この写真展の舞台であるバングラデシュには、「家事使用人」の子どもたちが42万人いるといわれています。よその家の家事をするために「メイドさん」として働いているのです。そのうちの80%は女の子で、大半は親と離れて雇い主の家に住み込みで働いています。

**女の子たちは、どんな毎日を送っているのでしょうか？**

**学校には行っているのでしょうか？**

**お母さんやお父さん、きょうだいには会えるのでしょうか？**

10歳にも満たない子どもたちが働いているという児童労働の現実には、遠い国の悲しい物語ではありません。日本から1日足らずで行ける同じアジアの国、バングラデシュで、そして世界中の国々にでいまこの瞬間に起きていることなのです。

1日中、雇い主のために働いている子どもたちの姿を通して、児童労働の問題の解決のために私たちにながができるのか、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

日下部 尚徳

立教大学異文化コミュニケーション学部

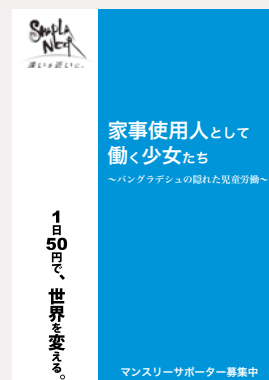
准教授

### オンライントークイベント

## わたし8歳、職業、家事使用人。

—世界の児童労働者1億5200万人の1人—

開催日: 2022年4月23日(土)



### オンライントークイベント

## ソーシャルファッションってなんだ？

開催日: 2021年12月11日(土)

団体: Gnadaa Japan はなはな SDGs

Gnadaaの代表であり、ジャーナリストとしても活躍されているスベンドリニ・カクチさんをお招きして、活動における原動力に迫りながら、ソーシャルファッションの本質について考えるイベントです。聖心女子大学の杉原真晃准教授と学生団体はなはなSDGsによるパネルディスカッションも実施致します。イベントの最後には、参加者の皆さんの願いが込められた「WISHツリー」を作ります。



## 中国女性の装いと身体性 —纏足からチャイナドレスへ

期間:2022年5月12日(木)~10月5日(水)  
主催:聖心女子大学グローバル共生研究所

伝統的な中国社会において、女性の身体を覆い飾った品々は彼女たちが所属する「家」の社会的地位や経済力を示すものでした。中国の儒教的風潮のなかで、女性の「女らしさ」はどのように作られ、髪型や衣服、靴は女性の身体にどのような意味を与えていたのでしょうか。

特別展では、19世紀後半~20世紀初頭の漢人と満洲人の衣服、女学生の「文明新装」、民国期モダンガールのチャイナドレスとポスターなどの実物資料を通して、中国女性の身体性の歴史を装いの観点からたどってみます。展示をご覧になった方々にとって、ジェンダー規範についての相対的な視点に立ちつつ「女性はどうか生きるか」を考える一助になれば幸いです。



しゃれい  
謝黎

上海生まれ。文化人類学専攻、博士(学術)。  
元東北芸術工科大学芸術学部准教授。  
現在聖心女子大学グローバル共生研究所  
客員研究員。

学生時代からアジアの布に魅かれ、チャイナ服の研究と収集をはじめました。定期的に博物館や美術館、ギャラリーでコレクションの展示企画を開催し、その魅力を多くの方々に紹介しています(神戸ファッション美術館 2008、長崎歴史文化博物館2011など)。また文化人類学的な視点から東・東南アジアの「衣生活」を取り上げ、それらを民族アイデンティティの再生産、民族博物館展示の表象などの視点から研究し、アジア地域の「近代化」における「民族」の生存、融合や消滅、「伝統」のあり方などの研究を物質文化の観点から進めています。現在は、民族衣装を軸に、「衣装」と「化粧」に焦点を当て、「女性性」と「社会性」の関わり方を調査しています。著書に『チャイナドレスをまとう女性たち 旗袍にみる中国の近・現代』2004 青弓社、『チャイナドレスの文化史』2011 青弓社、『チャイナドレス大全 思想・文化・歴史』2020 青弓社。

### オンライン講演会

## 中国女性の装いと身体性—纏足からチャイナドレスへ—

開催日: 2022年6月11日(土)

オンライン講演会

### 中国女性の装いと身体性 —纏足からチャイナドレスへ

纏足は、重められた女性の身体や、男性による肉体的虐待として語られることが多い。それでも女性たちが争わないのは何故だろうか。当時の中国の纏足は健康の観点から見たらむしろ良いのだろうか。纏足という不思議な文化現象は、中国の内戦からどのように変遷していったのだろうか。

20世紀初頭の中国では、こうした纏足をしている女性がいる中で、チャイナドレス(旗袍)がモダンガールのファッションとして登場した。向くも纏足でいる纏足者、摩登なチャイナドレスを着た女性、纏足からハイヒールへと変化する中で、女性の身体はどのような変遷を辿っていったのだろうか。

今回は、この変遷にみる身体性の歴史を通して、中国女性の身体と個人・家・国家との関わりを辿ってみたい。そこから、なぜ、人間が自分の身体を縛るのかという問いから、痛みや重荷を耐えて生きてきたものの何だろうか、といった問いについてもみなさんと一緒に考えたい。

講師: 謝黎(しゃれい)  
上海生まれ、文化人類学専攻、博士(学術)。  
元東北芸術工科大学芸術学部准教授。  
現在聖心女子大学グローバル共生研究所客員研究員。  
『チャイナドレスをまとう女性たち 旗袍にみる中国の近・現代』(2004、青弓社)、『チャイナドレスの文化史』(2011、青弓社)、『チャイナドレス大全 思想・文化・歴史』(2020、青弓社)。

2022年 6月11日(土)  
時間 | 13:30~15:00  
会場 | Zoom ウェビナー  
参加無料 事前登録制

申込方法 無料QRコードより  
事前登録してください。

聖心女子大学  
グローバル共生研究所  
主催

## Birth, Birth, Birth!

期間:2022年10月13日(木)~2023年1月28日(土)  
主催:聖心女子大学グローバル共生研究所



「Birth, Birth, Birth!」は、新しい命を迎える人々、それを支えるプロフェッショナルの姿を伝え続ける写真家ふたりの〈出前写真展〉です。病院の待合室、イベントや学会の会場、育児支援スポット、カフェ、学校などで写真を展示してきました。

今の日本では毎日のように出産や育児の大変さが報じられ、親も、医療者も多くの悩みを抱えているという現実があります。でも、そんな今だからこそ私たちは写真の力を使い、人が初めてわが子を抱くという言葉を超えた世界を、どんな時代にも変わらない人間の原点を、たくさんの人に感じてほしいと思っています。

出産の写真から感じるものは人それぞれです。自分の母親も自分を産んでくれた日はこんな風に喜んだのだろうかと思ったり、いつか自分も親になるかもしれない、と思う方もいます。また、育児中の女性は自分の育児の始まった日の熱い気持ちを思い出し、医療者の方は、写っているご自身の真剣な表情に驚かれます。

命を生み出すために力を合わせる人々の姿は、人は支え合い、寄り添いあって生きることができているのだと、私たちに信じさせてくれるものがあります。

どうぞ、ゆっくりとご覧ください。



河合 蘭 出産ジャーナリスト かわい・らん

1959年東京生まれ。カメラマンだった20代の時に第一子を出産し、出産専門のフリージャーナリストとして活動を開始。三人の子を育てながら取材を続け、現代の女性が親になる時の問題や産科医療、新生児医療、不妊治療を追ってきた。写真の被写体は取材対象の家族や医療職で、医療施設などに作品を提供。主な著書は『出生前診断 出産ジャーナリストが見つめた現状と未来』(朝日新聞出版/科学ジャーナリスト賞2016受賞作)、『卵子老化の真実』(文藝春秋)、『助産師と産む一病院でも、助産院でも、自宅でも』(岩波書店)など多数。

国立大学法人東京医科歯科大学非常勤講師、日本赤十字社助産師学校非常勤講師  
 聖心女子大学 グローバル共生研究所 客員研究員、NPO法人日本助産評価機構評価委員、  
 日本赤十字社医療センター BFH推進委員会外部委員、厚生労働省 NIPT等の出生前検査に関する専門委員会委員 河合蘭HP <http://www.kawairan.com/>



江連麻紀 写真家 えづれ・まき

1980年、徳島県生まれ。神奈川県で夫、娘、息子、猫、ときどき社会的養育の子(川崎市の養育里親)と暮らす。娘が2歳になったころ、夫がうつ病になり育児と看病で生活がままならなくなりました。そのときのいのちってなんだろうという想いから、カメラを手に出産を撮りはじめました。それから12年が経ち、ご家族のなんでもない日常や記念日、妊娠期のまろい姿、多様な出産の風景、精神障害等を抱えた当事者の地域活動拠点「べてるの家」の人々、ダウン症のある人々とその家族、里親家庭・ファミリーホーム・養子縁組家庭などの撮影をしています。撮影のほか、べてるの家で学んだ当事者研究を用いた家族会議、子ども当事者研究、子育て当事者研究のファシリテーションをしており、企業やNPO法人、美術館とコラボして各地でイベントやワークショップを実施しています。「子ども当事者研究 わたしの心の街には おこるちゃんがいる」(コトノネ生活出版) 江連麻紀HP <https://cocoroto.jp>



トークショー

Birht, Birth, Birth!

開催日:2022年10月27日(木)  
 ゲスト:河合 蘭 江連麻紀  
 コーディネーター:  
 神前裕子(聖心女子大学  
 心理学科准教授)、  
 中野博子(聖心女子大学  
 心理学科教授)

# 女性と健康「命と健康は平等か？」

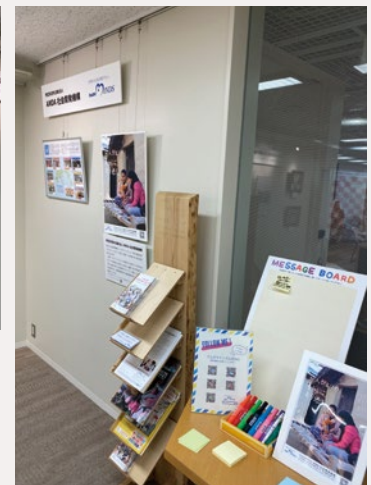
SDGsゴール3:すべての人に健康と福祉を  
SDGsゴール5:ジェンダー平等を実現しよう

期間:2023年2月13日(月)~4月27日(水)  
主催:特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構

AMDA 社会開発機構 (アムダマインズ) は、世界の貧困地域で人づくり・村づくりを通じて暮らしの改善に取り組む認定NPO法人です。現在、アジア・アフリカ・中南米の9か国で、約80名のスタッフが保健、水と衛生、生計向上、農業、青少年育成など、SDGs達成に向けた社会開発プロジェクトに携わっています。

この特別企画展では、私たちが世界各地で取り組んでいる活動の中から、「女性と健康」に関する取り組みを、写真などを交えてご紹介しています(乳がん・子宮頸がん、母子の健康格差、妊産婦ケア、リプロダクティブ・ヘルス)。

ご来訪くださったあなたにとって、この特別企画展が、「命と健康は平等か？」という視点で世界の貧困地域に改めて目を向けるきっかけになれば、私たちスタッフとして、とてもうれしく思います。



BE\*hive特別企画展  
女性と健康「命と健康は平等か？」関連イベント

「ネパールの女性にがん検診の機会を  
~NGOと企業の取り組み~」

AMDA社会開発機構(NGO)と第一三共株式会社(企業)がネパールで取り組む「女性と健康」のためのプロジェクトについてご紹介します。「企業とNGOの連携って?」「企業が行う国際協力って?」「途上国支援にかかわるキャリアって?」ご参加のみなさまからの様々な疑問にお答えします。

2023年 4月18日(火)  
17:30~19:10(終了後ギャラリートーク予定)

参加 無料  
会場 オンライン(Zoom)  
または会場(聖心女子大学4号館1階BE\*hive)  
定員 オンライン 300名  
会場参加 20名(定員に達し次第締切)

【プログラム】  
・AMDA社会開発機構、第一三共株式会社のネパールでの活動について  
・ぶっちゃけトーク~国際協力とわたしたち、そしてこれから~  
・聖心女子大学の学生も交えたトークセッション

共催・登壇

主催・お問い合わせ:  
聖心女子大学グローバル共生研究所  
■ jimu-kyosei@sacred-heart.ac.jp

お申込はこちら

## オンライントークイベント

「ネパールの女性にがん検診の機会を  
~NGOと企業の取り組み~」

開催日: 2023年 4月18日(火)  
共催: 第一三共株式会社、特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構

AMDA 社会開発機構 (NGO) と第一三共株式会社 (企業) がネパールで取り組む「女性と健康」のためのプロジェクトについてご紹介します。「企業とNGOの連携って?」「企業が行う国際協力って?」「途上国支援にかかわるキャリアって?」ご参加のみなさまからのさまざまな疑問にお答えします。



## オンライン国際シンポジウム 緒方貞子さんの思いを受け継ぐ —アフリカと日本を結んで—

開催日：2021年6月19日（土）  
主催：聖心女子大学グローバル共生研究所、聖心女子大学大学院社会文化学専攻、  
マグダレナ・ソフィアセンター  
助成：一般社団法人 東京倶楽部  
コーディネーター：石井洋子（聖心女子大学人間関係学科教授）

聖心女子大学第1期生であり、元国連難民高等弁務官の緒方貞子さんが、  
難民救済の中で最も困難な状況に直面した、東アフリカ、ルワンダの現在に  
焦点を当てます。そのことを通じて、若い人たちにに対し、視野を広げ、他者  
と協力し、世界が直面しているさまざまな問題に取り組んでほしいというメ  
ッセージを投げかけます。

### 【第1部】 ルワンダからの声

90年代後半、ルワンダ紛争後社会の安定を目指した緒方さんは、現地女  
性の支援を行い、和解と平和構築の道を開きました。それから四半世紀、  
ルワンダの現状を聴きます。

### 【第2部】 他者につながる学び

緒方さんが学生時代に聖心でどのように学び、リーダーシップを培った  
のか。国際協力を行う卒業生の声も聴き、大学生たちによる問題意識を  
高めるディスカッションを展開します。

- プレゼンター 永遠瑠・マリールイズ（NPO 法人 ルワンダの教育を考  
える会理事長）  
佐々木和之（ルワンダ・プロテスタント人文・社会科学  
大学開発学部准教授）  
佐々木 恵（ルワンダ布製品ウェブショップ「ウムチョ・  
ニャンザストア」代表）  
金田尚子（聖心女子大学卒業生 国連世界食糧計画）  
岡崎淑子（聖心女子大学元学長 グローバル共生研究所  
招聘研究員）  
難民支援学生団体メンバー（SHRET/ 聖心女子大学  
J-FUN Youth/ インカレ）  
ほか、大学生

## オンラインワークショップ 「キャリア」をジェンダーの視点から考える 女性とキャリア～人生を切り拓くために～

開催日：2021年8月25日（水）／9月2日（木）  
主催：聖心女子大学グローバル共生研究所  
後援：聖心女子大学キャリアセンター  
実施団体：公益財団法人日本女性学習財団

刻々と進む少子高齢化と未婚化。日本的雇用システムの大転換。世界に遅  
れをとるジェンダー平等。みなさんは、「親とは違う時代」を生きていきます。  
社会変化の実態や人々の意識を知り、キャリアモデルの「働くこと」へのメッ  
ッセージに耳を傾けてみませんか。ジェンダーの視点から「キャリア」を広  
義に捉え、様々な人と意見を交わし、これからの社会であなた自身がどの  
ように生きていくのか、考えてみましょう。

## オンライン国際シンポジウム

2021年6月19日（土）16:00～18:00 オンラインにて配信 **参加無料**  
（要事前申し込み）

### 緒方貞子さんの思いを受け継ぐ —アフリカと日本を結んで—

PURSuing THE HOPES OF SADAKO OGATA : FROM AFRICA AND JAPAN

聖心女子大学第1期生であり、元国連難民高等弁務官の緒方貞子さんが、難民救済の中で最も困難な状況に直面した東アフリカ、ルワンダの現状に焦点を当てます。そのことを通じて、若い人たちにに対し、視野を広げ、他者と協力し、世界が直面しているさまざまな問題に取り組んでほしいというメッセージを投げかけます。

#### 第1部 ルワンダからの声

PART 1 声 VOICES FROM RWANDA

90年代後半、ルワンダ紛争後社会の安定を目指した緒方さんは、現地女性の支援を行い、和解と平和構築の道を開きました。それから四半世紀、ルワンダの現状を聴きます。

#### 第2部 他者につながる学び

PART 2 学び LEARNING FROM OTHERS AND WITH OTHERS

緒方さんが学生時代に聖心でどのように学び、リーダーシップを培ったのか。国際協力を行う卒業生の声も聴き、大学生たちによる問題意識を高めるディスカッションを展開します。

#### <視聴方法>

オンラインイベントになります。  
QRコードを読み込み事前に申し込みください。

詳細は以下のQRコードからアクセスするURLにアクセスしてください。  
視聴には別途視聴料は発生するものではありません。

対象：大学生、高校生、一般の方 言語：日本語

司会 高祖 敬明 聖心女子大学 学長

プレゼンター

永遠瑠・マリールイズ氏 NPO 法人 ルワンダの教育を考える会 理事長

佐々木 和之氏 ルワンダ・プロテスタント人文・社会科学大学 開発学部 准教授

佐々木 恵氏 ルワンダ布製品ウェブショップ「ウムチョ・ニャンザストア」代表

金田 尚子氏 聖心女子大学 卒業生 国連世界食糧計画

岡崎 淑子氏 聖心女子大学 元学長 グローバル共生研究所 招聘研究員

難民支援学生団体メンバーほか、大学生

司会 石井 洋子 グローバル共生研究所 所長

主催：聖心女子大学 グローバル共生研究所  
後援：聖心女子大学大学院 社会文化学専攻、マグダレナ・ソフィアセンター  
助成：一般社団法人 東京倶楽部

大学生  
高校生  
対象

### 「キャリア」をジェンダーの視点から考える オンライン ワークショップ

★女性とキャリアへ人生を切り拓くために～

刻々と進む少子高齢化と未婚化。日本的雇用システムの大転換。世界に遅れをとるジェンダー平等。みなさんは、「親とは違う時代」を生きていきます。社会変化の実態や人々の意識を知り、キャリアモデルの「働くこと」へのメッセージに耳を傾けてみませんか。ジェンダーの視点から「キャリア」を広義に捉え、様々な人と意見を交わし、これからの社会であなた自身がどのように生きていくのか、考えてみましょう。

- 開催日：8月25日（水）／9月2日（木）  
各日 14:00～16:00  
※いずれの日も事前申し込みが必要です。
- 対象：大学生、高校生
- 参加費：無料
- 定員：各回20名（先着順で先着者優先）
- 申込：要申込  
各日（9月2日）から申し込みください。

自分にかきつけて  
社会を築いて  
知っていますか？

変化する社会で  
どう人生を  
切り拓いていきますか

「働く」を  
データから  
見てみよう

自分の意見を  
言葉にして  
伝えてみよう

多様な価値観を  
知ろう

聖心女子大学  
グローバル共生研究所

## オンラインセミナー

# 女子差別撤廃条約とNGOの活動を考える

開催日:2021年11月25日(木)

主催:聖心女子大学グローバル共生研究所

後援:聖心女子大学キャリアセンター

実際に会社に勤務しながらNGOで活動するキャリアモデルの方のお話を伺い、ジェンダー格差を是正するための糸口や方策を考え、また、キャリアモデルの職業的キャリア形成と社会活動の経験から、人生を通して自らをずっと成長させていくことや働くことと社会活動の両輪、そのやりがいについて学びます。

ゲスト 柏原恭子(会社員 国際女性の地位協会理事)

濱田すみれ(岩手大学男女共同参画室特任研究員、女性差別撤廃条約実現アクション世話人)

オンラインセミナー  
女子差別撤廃条約と  
NGOの活動を考える

BE+hive 見学会員限定  
第1期「自分に力をつけて社会を変えよう」～女性のキャリアモデル～

私たちの未来を担う、世界に活躍する日本の女性リーダー。このよりの社会の中で、あなたにキャリア形成の道はありますか？ 本会では、実際に会社に勤務しながら、NGOで活動するキャリアモデルの方のお話を伺い、ジェンダー格差を是正するための糸口や方策を学ぶ機会があります。

また、キャリアモデルの職業的キャリア形成と社会活動の経験から、人生を通して自らをずっと成長させていくことと働くことと社会活動の両輪、そのやりがいについて学びます。

ワークショップは無料ですが、ワークショップについて考えてみましょう。

**参加無料**

開催日:11月25日(木) 17:10~18:50  
対象:大学生(本学・他大)/高校生ノード  
参加費:無料  
定員:50名  
申込:要申込  
※QRコードからお申込みください

【ゲスト】人生を輝かしたキャリア形成について-職業的キャリア形成と社会活動  
柏原恭子 会社員 国際女性の地位協会理事  
濱田すみれ 岩手大学男女共同参画室特任研究員、女性差別撤廃条約実現アクション世話人

【司会】大塚あき(聖心女子大学現代教養学専攻国際関係学教授)

BE+hive 見学会員限定  
「いま、女性はどう生きるか」  
第1期「自分に力をつけて社会を変えよう」  
本誌とキャリアモデルフォーラム(ウェブ見学会員限定)

聖心女子大学  
グローバル共生研究所  
〒100-8557 東京都千代田区千代田1-3-1  
TEL:03-5465-1111 FAX:03-5465-1112

## オンライン映画上映会 & トークイベント

# SONITA ソニータ

開催日:2021年12月4日(土)

主催:聖心女子大学グローバル共生研究所

沈黙のかわりに私は叫ぶ。絶望の淵に立たされたとき、あきらめない少女の歌は奇跡を引き寄せる。家族のために結婚を強られる魂のラッパー、ソニータは歌い、自らの運命を変えていく。

【第2部トークイベント】

パネリスト 海藤純子(国際NGO プラン・インターナショナル プログラム部)

コーディネーター 小川早百合(聖心女子大学名誉教授)

貧困や差別のない社会を実現するために世界70カ国以上で活動する国際NGO「プラン・インターナショナル」をお招きし、今、まさに世界で直面している児童婚の実態や少女たちへの影響について学びを深めます。

BE+hive 展示「『児童婚』は違いの話?」公開講座  
オンライン映画上映会「SONITA」

無料映画上映  
「SONITA ソニータ」  
+  
トークイベント  
2021年12月4日(土)  
14:00~16:30

第1部:映画上映  
第2部:トークイベント

・オンライン開催  
・定員:50名  
・要申込:  
※QRコードからお申込みください

◆第2部 トークイベント◆  
パネリスト  
国際NGO プラン・インターナショナル  
プログラム部 海藤純子 氏  
コーディネーター  
小川早百合(聖心女子大学名誉教授)

貧困や差別のない社会を実現するために世界70カ国以上で活動する国際NGO「プラン・インターナショナル」をお招きし、今、まさに世界で直面している児童婚の実態や少女たちへの影響について学びを深めます。

聖心女子大学  
グローバル共生研究所

## トークショー & 映画上映会

# ずっといっしょ

開催日:2023年4月22日(土)

主催:聖心女子大学グローバル共生研究所

展示『世界から「命の誕生」を考える』では、生命の誕生について考えました。「ずっと、いっしょ。」は命の誕生や別れなどから“命とは何か”について考えるきっかけになる映画だと思えます。

【トークショー】

パネリスト 河合 蘭(出産ジャーナリスト/写真家)

コーディネーター 神前裕子(聖心女子大学心理学科准教授)

中野博子(聖心女子大学心理学科教授)

企画展「いま、「女性」はどう生きるか」  
第4期「世界から「命の誕生」を考える」  
公開講座

トークショー&映画上映会  
「ずっと、いっしょ。」

04/22 sat

展示「世界から「命の誕生」を考える」では、生命の誕生について考えました。「ずっと、いっしょ。」は命の誕生や別れなどから“命とは何か”について考えるきっかけになる映画だと思えます。ぜひご覧ください。

早くから知る価値  
ずっと、いっしょ。

◆日時:2023年4月22日(土)  
13:00~16:00  
第1部 映画上映 13:00~15:10  
第2部 トークショー 15:15~16:00

◆会場:聖心女子大学4号館  
3階 グラフィック記念ホール

◆定員:60名  
◆参加費:無料  
◆申し込み:  
※QRコードからお申込みください

トークショー パネリスト  
河合 蘭氏(出産ジャーナリスト/写真家)

コーディネーター  
神前 裕子(聖心女子大学心理学科准教授)  
中野 博子(聖心女子大学心理学科教授)

自ら「気づき、学び、行動する」前兆の場へ  
BE+hive 見学会員限定  
「いま、「女性」はどう生きるか」  
第4期「世界から「命の誕生」を考える」  
公開講座  
聖心女子大学  
グローバル共生研究所  
〒100-8557 東京都千代田区千代田1-3-1  
TEL:03-5465-1111 FAX:03-5465-1112